

平成31年3月19日

奈良市観光経済部観光戦略課

電話：0742-34-5607

なかのめ そうま

18歳タップダンサー・中野目崇真さん「奈良市観光大使」就任について

～平成31年3月25日（月）に奈良市役所にて委嘱式を実施～

- 現在18歳。現在活動中の奈良市観光大使・奈良市観光特別大使の中で最年少。
- 社寺や仏像にも造詣が深く、平成30年6月には秋篠寺・伎芸天立像の前でタップダンスを奉納。
- 平成22年に平城宮跡で開催された「平城遷都1300年祭」にて、当時師事していたダンサーのステージに飛び入りで登壇した経験も持つ。

1. 概要

弱冠18歳にしてタップダンサーとして国内外で活躍している中野目崇真(なかのめ そうま)さんに、奈良市観光大使を委嘱します。社寺や仏像にも造詣が深く、ご自身が毎年個人的に訪れている奈良市の秋篠寺で、昨年タップダンスの舞踊奉納を果たしています。タップダンスのイベント等を通じて奈良市のPRに貢献したい、という熱い想いを頂戴し、この度、ご協力いただく運びとなりました。

2. 委嘱式について

名称：中野目崇真さん「奈良市観光大使」委嘱式
日時：平成31年3月25日（月）11時45分～12時15分
場所：キャンベラの間（奈良市役所・中央棟5階）
内容：仲川げん奈良市長による委嘱状の授与及び名刺の贈呈
中野目崇真さんによるタップダンスの披露



3. 中野目崇真さんについて

平成12年、東京生まれ。3歳からタップダンスを始め、7歳には公演等の振付を行い、10歳にはメディアに取り上げられ、12歳に渡米。13歳にはジュニアの育成のため団体を立ち上げる。16歳には再渡米をし、フリーランスでの活動を始める。現在『アート・ミュージック・エンターテインメントの面から社会や生活にどのような変化を起こせるか』をテーマに掲げ、音楽制作・映像制作・イベント企画等のプロジェクトを立ち上げ、多方面に活動を行う。

また、幼少期より社寺や仏像にも造詣が深く、7歳の時、全国放送のテレビ番組で芸能人との知識対決に挑んだ経験も持つ。平成30年6月13日に、自身が毎年参拝している秋篠寺・伎芸天立像（伎芸天：芸術・芸能を司る女神）の前でタップダンスを奉納した。